

# JA鈴鹿の自己改革の取組み

～農業者の所得向上・農業生産の拡大に向けて～

1. 組合員との対話
2. 対話に基づく自己改革の実践
3. 白ネギの産地拡大
4. 加工用野菜の生産振興
5. 営農振興基金の概要
6. 営農振興基金利用者の声

# 1. 組合員との対話

【C⇒A⇒P⇒D】

●JA鈴鹿では、受託者部会、受託後継者部会をはじめとする組合員組織との対話やアンケートによってニーズの把握に努め、自己改革の基本目標である「農業者所得の向上」・「農業生産の拡大」に向けた取組みを進めています。

対話の方法(一例)	対話の内容
受託者部会、受託後継者部会等の生産部会	自己改革の取組状況報告 意見交換
女性部と役員の見聞交換会	意見交換
支店別総代懇談会	事業報告 自己改革の取組状況報告 意見交換
支店運営委員長会議	自己改革の取組状況報告 意見交換
月次家庭訪問	組合員宅を訪問し広報誌配布・ 要望確認等
担い手訪問	営農指導員・営農経済渉外員が 担い手の要望等確認
組合員アンケート	中期経営計画策定のための調査

## 対話から得られたニーズ

新規就農や規模拡大したいが経済的負担が大きい

所得安定のために複合経営に取組みたい

山間地の獣害被害で収入低下している

肥料・農薬などの生産資材を良品安価供給してほしい

高価な農機購入コストを抑えたい

営農継続したいが高齢化や後継者不在で困難

## 2. 対話に基づく自己改革の実践

【C⇒A⇒P⇒D】

●組合員との対話やアンケートで得られたニーズに対し、独自の施策を打ち出すとともに、成果指標を設定し、組合員ニーズに対応した事業の展開に努めています。

ニーズへの対応施策	成果指標	実績
営農振興基金を通じた支援	支援額(利用件数)	6,150万円(167件)
獣害被害対策等の総合支援策の実施	支援額(利用件数)	2,131万円(804件)
白ネギの作付推進	生産面積(販売高)	17.2ha(1億895万円)
加工用野菜の作付推進	生産面積(販売高)	18.7ha(5,594万円)
スケールメリットを活かした仕入や仕入れ価格交渉	—	重点品目価格折込
大口購入者奨励の実施	奨励額	2,420万円
農機レンタル・農作業請負の実施	利用件数	246件

※ 営農振興基金、総合支援策は累計実績です。

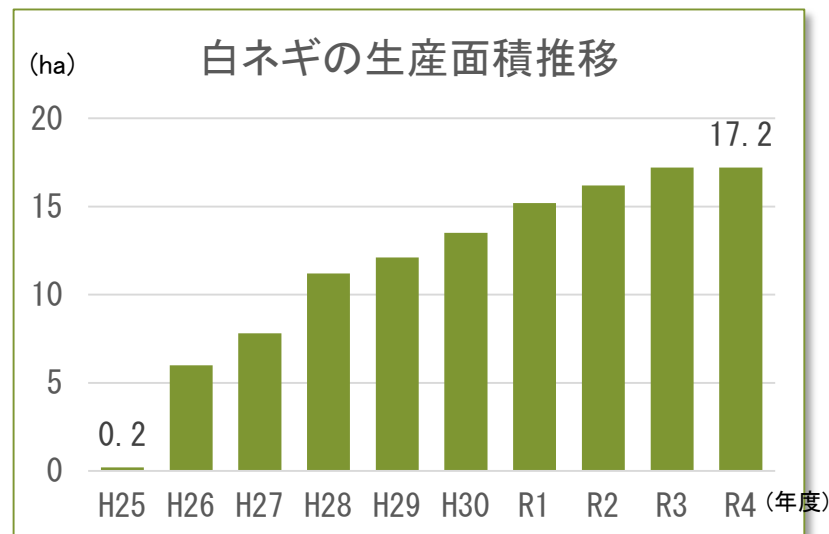
●自己改革の取組状況は、定期的に報告書を作成し、生産部会をはじめとする組合員へ情報発信を行っています。

### 3. 白ネギの産地拡大

●当JA管内は、植木産地としてサツキ・ツツジ等の生産が盛んに行われていますが、近年は、公共事業等の需要減少に伴い売上は減少傾向にあり、生産者の所得向上に向けた支援が課題となっていました。

●このような状況を踏まえ、所得向上に貢献するため、植木生産者を中心として、収益性が高く、安定的な需要が見込まれる白ネギを複合品目として推進し、産地拡大に取り組んでいます。

成果指標	平成25年度	令和4年度
生産面積	0.2ha	17.2ha
出荷量	8.5トン	335.5トン
販売高	276万円	1億895万円
生産者数	5名	48名



### 3. 白ネギの産地拡大

●新規就農者や規模拡大、経営転換に取り組む生産者等に対しては、当JA独自の「営農振興基金」を通じて支援を行っており、支援した白ネギ生産者の3年後の経営状況は次のとおりです。

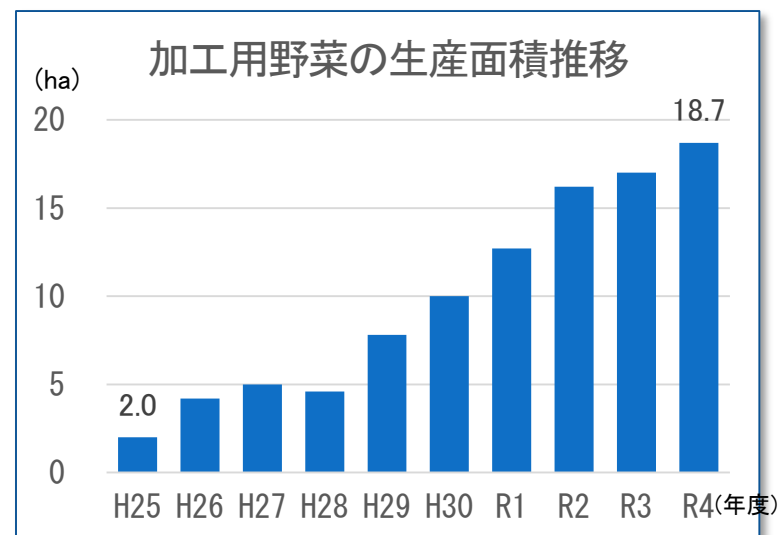
支援対象者 (白ネギ)	当 初		3年後	
	作付面積	売上高	作付面積	売上高
新規就農者 14名	—	—	4.84ha	3,145万円
規模拡大者 5名	1.83ha	1,748万円	2.30ha	2,325万円
<b>売上増加効果</b>	<b>3,722万円</b>			

●白ネギの生産者に対しては、定植機や播種機等のレンタルも行い、経営を支援しています。

## 4. 加工用野菜の生産振興

●実需者ニーズへの対応として、契約取引による加工用野菜（ハクサイ・カボチャ）の生産を推進し、農家経営の安定と所得向上に取り組んでいます。

成果指標	平成25年度	令和4年度
生産面積	2.0ha	18.7ha
出荷量	7.5トン	815.9トン
販売高	770万円	5,594万円
生産者数	10名	45名



●ダンボールから鉄コンテナへ出荷形態を切り替え、作業の効率化とコスト削減に取り組んでいます。（10a当たりの収量目標に対する出荷経費を約9割削減）

## 5. 営農振興基金の概要

事業名	対象作物	対象者	対象経費	助成内容
振興園芸事業	白ネギ	10 a 以上の新規取組（新規就農者、経営転換等）もしくは10 a 以上の規模拡大を行う方	資材費 機械・設備	〈新規取組〉 経費合計額の50%以内 〈規模拡大〉 機械・設備の50%以内 (限度額100万円)
	加工用野菜(カボチャ、ハクサイ)、振興野菜(白ネギ、キャベツ、三重なばな、ニンニク、サトイモ)	5 a 以上の新規取組（新規就農者、経営転換等）もしくは5 a 以上の規模拡大を行う方	資材費	拡大した面積1 a あたり5,000円以内 (限度額：10万円)
施設園芸事業	施設園芸	1 a 以上の新規取組を行う方	施設設備	50%以内 (限度額：100万円)
多彩な野菜づくり 応援事業	園芸作物全般	1 a 以上の規模拡大を行う方	種苗費	拡大した面積1 a あたり5,000円以内 限度額：5万円
その他事業	審査会が適当と認めた作物	10以上の新規取組（新規就農者、経営転換等）もしくは10 a 以上の規模拡大を行う方	機械・設備	50%以内 (限度額100万円)

## 6. 営農振興基金利用者の声

### ◆白ネギ新規就農

「初年度思っていたより出費が多くなり営農振興基金に助けられました。この基金がなければ農家になれなかったかもしれません。」

### ◆加工用野菜新規取組

「営農振興基金の支援があったおかげで自己負担の軽減ができました。設備投資の結果、作業負担が軽減でき生産物の品質安定にもつながりました。」

### ◆軟弱野菜新規取組

「露地栽培のため天候に左右されやすく、営農振興基金を活用してハウスを建てたことによって、安定的に軟弱野菜を出荷することができるようになりました。」

●営農振興基金を利用された方にはアンケートへご協力いただき、ニーズに応じて内容を見直し、支援の充実に取組んでいます。